

# 平成24年度 再評価委員会

路線名：一般県道 嬉野下宿塩田線

事業名：社会資本整備総合交付金事業

(着手より10年経過のため再評価)



# 事業目的



バイパス(歩道含む)整備により

交通の円滑化、通学者の安全性確保

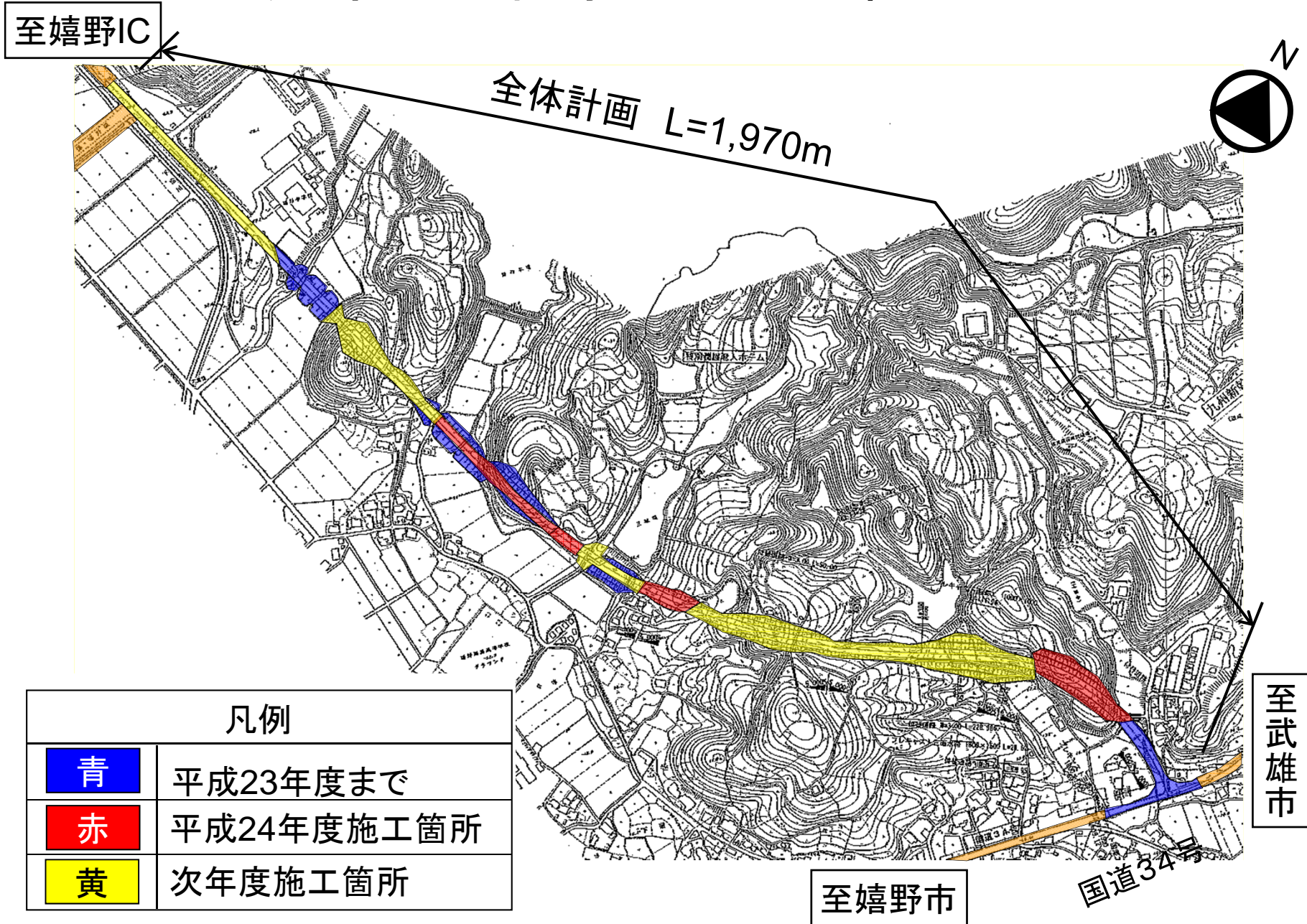
# 事業概要

- 全体事業費：20.8億円
- 工期：平成15年度～平成28年度（予定）
- 全体延長：L=1, 970m
- 事業内容：改良工 L=1, 970m  
用地買収 73, 479m<sup>2</sup>  
家屋補償 4戸

## 事業の進捗状況

	平成23年度まで	平成24年度	平成25年度以降
事業費(億円)	11. 4	2. 9	6. 5
進捗率(%)	55. 0	68. 9	100. 0
用地進捗率(%) (面積ベース)	98. 4	100. 0	100. 0

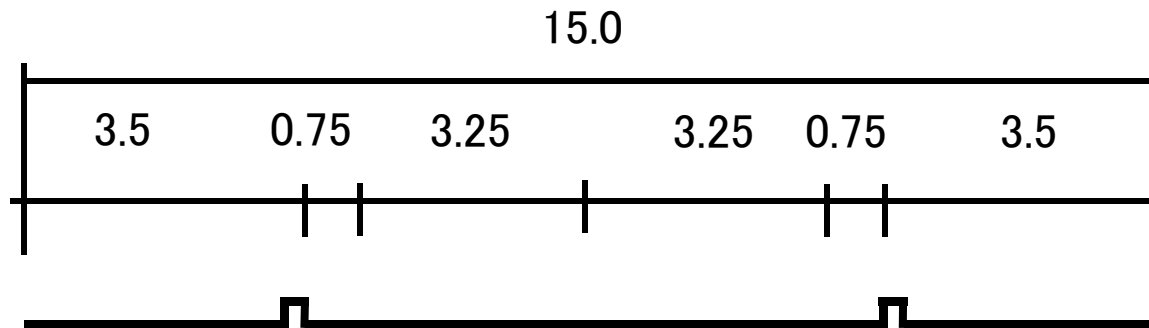
# 一般県道 嬉野下宿塩田線 平面図



凡例	
青	平成23年度まで
赤	平成24年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

# 一般県道 嬉野下宿塩田線 横断図 (バイパス)

計 画



# 平成24年 現地状況



終点付近から起点側を望む



中間から終点側を望む

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加(長崎自動車道嬉野IC付近)
  - 平成9年度 3,749台/日(基準)
  - 平成11年度 3,536台/日(0.92)
  - 平成17年度 4,464台/日(1.19)
  - 平成22年度 4,326台/日(1.15)
- 概ね10年後に、九州新幹線西九州ルートが開業し、近傍に嬉野温泉駅(仮称)が出来ることから、更なる交通量の増加が予想される。



# 費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 63.8 / 21.7 = 2.9$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	49.7億円
走行経費縮小便益	=	9.8億円
交通事故減少便益	=	4.3億円
合計		63.8億円

- 【費用】

事業費	=	20.6億円
維持管理費	=	1.1億円
合計		21.7億円

# コスト縮減や代替案等の可能性

## (コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。
- 工事で発生する残土を他工事の盛土材に流用する。

## (代替案の検討)

- 特になし

# 対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。